

# みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2002/05/07 Vol. 96 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362  
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

## 印西市議会/平成 14 年第 1 回定例会報告 ( 6 )

いつもお世話になっております。今回は、特に印西市議会(3月定例会)で審議した特別会計予算と助役の選任についての議案について報告等を行わせていただきます。

### ( 続 ) 平成 14 年度印西市当初予算について

印西市では、特定の事業を行う際に、「一般会計」と経理を区別するため、法律や条例に基づいて4つの特別会計を設置し、事業を行っております。

平成 14 年度印西市特別会計予算の概要について

<u>国民健康保健特別会計</u>	予算規模	30.34 億円	(対 前年度比	6.6%の増加)
<u>老人保健特別会計</u>	予算規模	29.4 億円	(対 前年度比	6.6%の増加)
<u>下水道事業特別会計</u>	予算規模	18.93 億円	(対 前年度比	16.9%の増加)
<u>介護保健特別会計</u>	予算規模	12.313 億円	(対 前年度比	24.8%の増加)

それぞれについて、予算案の審議が行われ、採決をしますが、**私は下水道事業特別会計を除き、全て反対にまわりました。**(反対理由=予算規模は確かに増加をしていますが、歳入増加分は、「市民の負担が増える」ことによるため。市では対策を充分行っていない。)今、日本経済は、景気の悪化と物価の下落が同時並行で悪循環的に進行するという状況に落ちこんでいます。このような危機の中、大切なのは住民が安心して暮らせる街を作っていくのが行政の役割だと考えます。つまり、医療、年金、介護などの社会保障を確立することが重要なのではないのでしょうか。今の印西市は充分ではないと考えています。失業者、低所得者に対する負担は最小限にとどめ、ムダを削り、社会保障を最優先していく市政であってほしいと思います。

### 助役の選任につき、同意を求めることについて

(結果/可決~私は反対しました。)

今までは助役といえば、県から職員を派遣してもらい、4年任期のところを2年残し、県に戻るといことが行われてきました。今回はこの議案に対して、採決は2つに分かれました。(賛成 12 / 反対 11)。私を含めた反対者は、印西市政を市の職員でなく、県の職員が担当することに対して、選任方法自体に疑問を投げかけました。また昨年来、千葉県が印西市に求めてきた、千葉県企業庁の財務状況の悪化を理由とする「公益的施設負担金等の見直し」について、県からの助役では当市の意向を千葉県に対して、十分に伝えられないのではないか等の懸念も示しました。

(参考) 助役=市の行政組織の中で、市職員をまとめ、市長と共に市政の運営に携わる市三役の一人。(三役/市長、助役、収入役)

### 「指定ごみ袋」制度 その経緯と今後(1)

皆様ご存知の通り、本年4月1日より指定ごみ袋制度が開始されています。この件に関して、多くの方々からご質問、ご意見が寄せられております。今回は、これまでの経緯を改めてご報告申し上げます。

(制度内容) 市民は、自ら処理できない家庭系廃棄物については、一般廃棄物計画に従い、

指定された袋等により当該家庭系廃棄物を適性に分別し、市長が定める場所（「集積所」）に排出しなければならない。 < 「印西市廃棄物の減量および適性処理に関する条例」によります。 昨年の市議会「9月議会」にて可決されております。 >

**（これまでの経緯）** 平成12年秋に「印西市廃棄物減量等推進審議会」に印西市長より、「ごみ収集に係る指定袋制の導入について」という諮問がされ、同審議会にて平成13年6月29日付けで以下のような理由にて、「導入は急務」という答申がされ、議会での議決を経て、今回の制度開始に至っております。

1.現状の改善（現状＝昨年6月）

現在、市では家庭ゴミの排出袋を特に指定せず、透明・半透明の袋を使用することで分別排出に協力を願っているが、依然として分別が徹底されず、かついまだに黒い袋で排出されることも多く、収集車両の火災事故発生等収集処理に従事する作業員が常に危険にさらされているのが現状である。

2.ゴミの減量化

ゴミの排出量が年々増加傾向にあることから、指定ゴミ袋制にすることにより、分別の徹底や資源化の推進、ゴミ発生の抑制等、リサイクル意識の動機付けをはかる。

印西市には、「ごみの減量施策」について以下も検討されたいと要望がありました。

- ア．資源化収集品目の追加、細分化
- イ．ゴミ減量協力店やリサイクル推進店などの認定・紹介
- ウ．ごみ問題への理解を深める情報や学習機会の提供
- エ．リサイクルステーション等の設置
- オ．生ゴミ減量化への啓蒙・啓発
- カ．再利用品使用の普及啓発
- キ．リサイクルセンターの早期整備の検討

**（ぐんじとしのり 議決当時のコメント/この案件には、私も賛成しました。） <再掲>**

この件については、千葉県内の状況も確認しました。市の思惑通りにコトが簡単に進むとは考えられないのですが、ゴミの減量化については市民全てが認識してはじめて達成できるものであると考え、また市によって、ゴミ袋制度を導入することに対しての十分な説明による周知がなされることを前提に、ゴミ減量化施策の第一歩として、賛成しました。

## ジョイフル本田がやってくる。

先日、この紙面にてご報告をさせていただいた「(株)ジョイフル本田」進出の件ですが、同社による「商業施設事業計画書」を入手いたしましたので、皆様にご報告をさせていただきます。

- (施設名称) (仮称)ジョイフル本田 千葉ニュータウン店
- (土地面積) 114,935 m<sup>2</sup>(34,767 坪) 鉄骨造 2階建て一部 3階建てほか
- (営業施設名) ホームセンターゾーン / ホームセンター、ペットセンター、食品スーパー、資材館、アート&クラフト、ファーストフード店、アンティークカフェ他  
ガーデニングゾーン / ガーデンセンター、エクステリアセンター 他
- (駐車場 / 駐輪場) 駐車場 / 3220 台 (平面、2階、屋上) 駐輪場 / 300 台  
駐車場は国道 464 号線沿いに設置されます。また給食センター東側道路が整備されます。
- (開店日) 平成 14 年 12 月 (予定)

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回も、引き続き 3 月議会のご報告を中心にさせていただきます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と考えていきたいと思っております。よろしくご意見申し上げます。

ぐんじとしのり